

JICA 出前授業・交流活動実施要項

英語科  
担当 中村 俊佑

1. 目的

- ① 授業や教科書で扱われているアフリカ地域（ザンビア・ルワンダ・南アフリカ）について、生徒が主体的に調べたうえで、「問い」を作る経験をし、ネットや書籍などでは得られない現地の人々のリアルな話を直接聞くことで、アフリカの現実と課題を知り、国際的な視野を持って活動できる生徒を育成する。
- ② 日本とアフリカのかかわりについて知り、SDGsの観点から自分たちの生活を見直し、異文化理解や国際協力に関して、「自分ごと」と感じられる生徒を育てる。
- ③ アフリカでも英語が重要な役割を果たしていることを認識し、英語が世界共通語であることを知り、英語でコミュニケーションをとることの大切さを認識させる。
- ④ 互いのプレゼンテーションを聞き、会話交流、街紹介などのタスクを通して、日本文化の良さを発信するとともに、文化の違いに気づき、互いの文化を尊重し、違いを楽しめるようになる。
- ⑤ 実際に、アフリカからの研修員に英語で五日市の街の魅力を伝える活動を通して、異文化コミュニケーションのスキルを養い、英語で伝え、共に活動することの喜びややりがいを実感させる。

2. 活動の詳細

- (1) 期日 令和2年3月18日（水） 10時50分～12時40分  
(その後、有志交流：13時30頃まで)
- (2) 場所  
視聴覚室及び学校周辺
- (3) 対象生徒  
2学年生徒全員（科目は「コミュニケーション英語Ⅱ」とする）
- (4) 出前授業者  
アフリカからのJICA研修員3名（教科書等で扱う予定のルワンダ・ザンビア・南アフリカを希望）
- (5) 授業内容（案）
  - 10:50 集合・出欠確認
  - 11:00 出前授業者の自己紹介
  - 11:10 ミニプレゼンテーション開始（7分×3人）  
「研修員として行っていること・日本に来ることになったきっかけ」「自分の国・住んでいる街の良さ」「自分の夢」などについてミニプレゼンを行っていただく。
  - 11:40 質疑応答・休憩
  - 11:50 ワークショップ（30分）  
事前に送付した「生徒の問い」に沿って、それぞれ3名から回答していただく。
  - 12:20 生徒プレゼンテーション（5分：国際交流部）

「五日市の街の外国人おもてなしプロジェクト」について、プレゼンを行い、出前授業者からコメントをいただく。

12:30 終わりの挨拶（国際交流部）

13:00 頃～ ESS 国際交流部及び希望者でアフリカからの研修員へ Itsukaichi English MAP（国際交流部作成）を利用して、街紹介を行う。

#### （6）事前準備

- ・ 補助資料として、JICA 研修員の発表内容の英語原稿を事前に配布しておく。また、ワークシートを用意する。
- ・ お礼の言葉は ESS 国際交流部員が英語で行う。
- ・ 報償費：10:50～12:50 の 2 時間、4700 円×3h=14,100／人 15,000 円×3 人=42,300 円  
（謝礼に関しては直接講師に銀行振り込み）

#### 3. 出席・欠席等

欠席した場合は、コミュニケーション英語Ⅱの欠時 2 回分に加算する。